

令和5年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(岡部中学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
岡部中	下回った							
埼玉県	63.8	60.2	55.5	56.4	59.0	60.8	53.3	50.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
岡部中	7-A	8-C	8-B	6-A	7-B	8-C	8-A	9-A
埼玉県	8-C	8-B	8-A	7-C	8-C	8-A	9-C	10-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
岡部中		2	1		1	1		1
埼玉県	1	1	1	1	2	2		2

岡部中学校公表

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

		中1		中2		中3	
質問事項		岡部中	埼玉県	岡部中	埼玉県	岡部中	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	87.3	80.2	76.7	70.4	71.6	68.1
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	79.4	72.8	82.0	68.2	65.5	66.6
	・誰に対しても進んで挨拶をすることができている	88.5	82.6	90.4	83.1	88.3	84.6
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができている	86.7	88.1	92.2	90.8	94.4	92.1
	・相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉遣いできている	93.3	88.7	92.2	89.9	91.4	90.2
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	56.4	48.1	55.1	44.1	45.1	43.4
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	77	71.4	74.9	69.0	75.9	73.5
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	7.9	14.8	7.8	10.4	6.8	9.8
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	69.7	73.7	61.1	65.2	63.0	58.5
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	76.4	48	65.8	47.4	56.2	39.4
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	74.6	65	63.4	55.6	69.7	59.2
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	86.7	81.7	77.8	73.8	93.9	83.9
	・授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	24.2	22.8	8.4	13.9	1.0	5.1
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	43.6	27.2	33.6	13	21	12.5
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	98.8	93.3	95.8	93.6	94.5	93.3
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	97.6	94.3	97.0	90.4	96.3	94.3
	・学級での生活は楽しい	95.8	91.0	95.8	91.4	92.6	90.4

岡部中学校公表

【質問紙分析】

- ・「地域の歴史や自然に関心を持っている」項目が、県より値が高いのは、学校を挙げて緑化コンクールに取り組んだ成果であると言える。今年度も、緑化委員会を中心に「おかべの杜」の継承の活動を継続しているからである。
- ・その他の項目で「学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた」「学校の友達は自分のよいところを認めてくれた」「学級での生活は楽しい」において、県の数値より値が高いのは、アセスの即時的・効果的な活用により先生方が、迅速かつ丁寧な対応を個々に行っていることが考えられる。また、学校研究課題を通しての取り組みが浸透していることが考えられる
- ・「昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した」において、県平均より数値が高いのは、学校を挙げてICTの活用を積極的に行っていること、また、小学校に於いての活用に関する積み上げを、中学校で発展させているからである。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・学級会を定期的で開催しており、話し合い活動が活発であり、友人や教師との関係性が良好になっている。生徒間、教師間で目標の共有化、集団としてまとまりがあり、一丸となって学力向上に取り組もうとする雰囲気が見られる。
- ・学級通信の効果的な活用、生徒教師で作り上げた学級掲示や、アセスを効果的に活用し、即時的に支援に当たったクラスが成果を挙げることができた。

【国語】

- ・ICTを積極的に活用したクラスに伸びが見られた。タブレット端末を効果的に用いて、漢字テストや慣用句のテストを行っている。意見の共有もタブレットのアプリを効果的に用いて、効率化や意欲向上に用いられている。
- ・パワーポイントを効果的に用いて、授業をテンポよく生徒が飽きない工夫がなされている。

【数学】

- ・伸びが見られた学級での数学では、少人数指導を行い、毎回宿題を提示し確認・見届けまで行き、丁寧な指導を行っている。定着できるように繰り返し指導を重ねている。個別の支援が重要であり、教え合いや学び合いも活発に行われている。

【英語】

- ・タブレット端末を用いて、スピーチの練習、音読の練習を行い、文章を読む問題や聞き取りの問題で成果を上げることができた。
- ・コミュニケーション活動を積極的に行っている。スモールトークの実施等、既習事項を活用する場面（アウトプット）を作っている。

岡部中学校公表

一人一人をより伸ばすための取組

- ・県学調の活用法が分からない教員、特に若手の教員に対し、活用法の研修会を行う。各帳票がどのような役割で、どう活用すればよいか、個人票を返却する時の注意点など、細かく研修会で伝達する。単に、帳票の活用するようにと指示するだけでは、かつようできない、または活用しないことになってしまう。
- ・校内研修において、実際に県学調の問題を職員が解き、どのような資質・能力の育成が求められているかを学年単位で話し合う。話し合った結果を、教務がまとめ全職員に共有していく。また、伸びが見られた英語科や数学科での取組の共有化、県から出されているグッドプラクティスを紹介すること、教科部会内での相互授業参観、管理職による授業参観を通じて、教職員の資質能力を向上させ、生徒へ還元していく。